

ネットを中心とした日食情報
活動を立ち上げるために

石井 馨

はじめに

私と日食情報センターの関わりあいは1980年から

日食観測初心者の私に対して
秦茂先生、山口正博先生を始め諸先輩方に
手取り足取りご指導していただきました。
その恩義に報いるために、新しく日食ファンに
なられた方々に対して、今度は私が情報提供を
行っていこうと考え活動を行ってきました。

私の後に同じような思いで続く方々が出てこないとしたら
それは私の活動の力不足ゆえであり
誠に申し訳ない限りと思っています。

ボランティア活動の連鎖

日食情報は、購読者数が百数十名程度のミニコミ誌ですが、この掲載情報を元にして旅行代理店への提案やビギナー日食ファンへの指導、情報提供を行っているベテラン観測者も少なくないはずです。

→ 私自身は、日食情報はボランティア活動の連鎖の根っ子になっていると思っています。

ex) 2005年 4月 8日 パナマ金環日食の情報
月縁補正した「真の金環帯」の情報は
日食情報誌のオリジナル情報でしたが、
日本からのツアーは全て
「真の金環帯」を観測場所としました。



パナマでの金環食帯例

ボランティア活動の根っ子の必要性

ベテラン観測者が各自の参加するツアーの中で
ボランティア活動を行っていく上で、
それぞれが情報収集を行って非効率

ボランティア活動の根っ子がなくなってしまうと
次第にベテラン観測者によるボランティア活動も
廃れていき、いずれボランティアの連鎖も消失？



これからも増えるであろう、日食ファンのため
日食観測者向けの基礎情報の発信は必要

日食に関する情報発信で行いたいこと

- 1) 日食に関する基本情報、用語解説などより初心者に向けた情報の充実
- 2) 日食予報、気象条件、観測地情報、ツアー情報などの遠征者向け情報提供を継続
- 3) 日食撮影のノウハウなど、より高度な情報を求める方にはSEPnetを紹介



紙媒体ではなく
ネット(ホームページ)中心の情報発信

具体的な運営形態のイメージ

- A) ホームページを中心とした情報発信に賛同し、新たにスタッフとなっていたただける方々と、従来の枠組みとらわれない運用を再構築。
- B) ただ一つだけ、譲れない条件としては特定の企業、団体からの金銭的な支援を受けないこと。(情報の公平性、中立性)
- C) 旗振り役は石井がやります。
他のスタッフはこれから募ります。

お願い

1) 新たなスタッフの参画が必須

- ・ベテラン日食観測者のボランティア活動を支える情報の収集、発信能力のある方々
- ・ホームページ作成を手伝って頂ける方々

2) ホームページ維持を支援するサポーターが必須

- ・ドメインネーム維持費用、レンタルサーバ維持費用など。年間数百円の費用負担をして頂ける方が、100名程度は必要

2年間かけて、じっくり立ち上げたいと思います